

子どもたちの視点でまちづくりに提言 「小学生子ども議会」を開催



子ども議会参加者（敬称略）

学校名	議長
玉川小	森宗美 穂子 ⑥
川上小	大塚 泰成 ⑥

○内の数字は学年を表します。

学校名	議員
高梁小	川内野穂高 ⑥、井上奈三 ⑥
巨瀬小	小林菜美 ⑥、平野愛歩 ⑥
宇治小	川上隆三 ⑥、廣金沙弥夏 ⑥
松原小	内岡聖仁 ⑥、もり森定歩 ⑥
福地小	まつ松尾優佑 ⑥、富彌秀斗 ⑥
有漢東小	か加藤優紗 ⑥、山田翔香 ⑥
成羽小	くろ川紫乃 ⑥、い石田早紀 ⑥
吹屋小	み三浦瑠璃 ⑥、かね藤恵樹 ⑥
湯野小	さ古大輝 ⑥、嶋池実香 ⑥
西山小	え江草昌志 ⑥、まつ井夕陽香 ④

高梁市の将来を担う子どもたちに、自分たちの夢や希望を発言する機会を設け、市役所の仕事や議会の仕組みを体験することで、まちづくりに進んで参加する意欲を高めてもらおうと、11月2日に市議会議場で「小学生子ども議会」を開催しました。

■問い合わせ 学校教育課指導係（☎21-509）、秘書課 公聴広報係（☎21-02110）

質問と答弁の概要

井上 奈三 議員
川内野 穂高 議員
高梁小



商店街活性化のための取り組みについて
アーケード商店街で、閉めているお店もあり、寂しい感じがします。商店街の活性化のために、どのような取り組みをしていますか。

「わくわく子どもフェスタ」のような参加型の催しが定期的であれば、みんな心待ちにしているかになります。魅力的で買物がしやすい商店街になるよう、名前をつけてイメージチェンジを図ったり、入口に案内板を設置し、観光客にもPRしたらどうでしょうか。

近藤市長

質問の商店街は栄町商店街だと思いますが、以前は多くの店が並び、大勢の買い物客でにぎわう活気のあるところでした。しかし、自家用車が増え、郊外に大型の店舗などができ、いろいろな所へ買い物に出掛けるようになりました。

メラを設置して、産卵の様子など詳しく観察を続けています。

そして、この鳥を宇治町だけでなく、市内全体で保護できたらと思っています。高梁市では、自然や環境を守るために、どのような取り組みをされていますか。

近藤市長

宇治小学校では、平成14年度からブッポウソウの保護に取り組みされていて、昨年度、環境の分野で功績のあった団体として「赤木五郎賞」を受賞され、おめでとうございます。

市は「ブッポウソウに出会える故郷の森整備事業」として、ヒナを育てやすい環境の整備や、ブッポウソウを通じて自然環境について考える活動を行う団体を支援しています。また、整備が必要な山林を募集し、大規模な整備は市で行い、小規模な整備には一部を補助して、山のきれいな景色を守る「山里まもり隊」を結成するなど、山林をきれいにしていきます。

これからも美しい自然環境を守るため、二酸化炭素を減らしたり、山の水をきれいにする役割が元に戻るよう、里山の整備を進めていきます。

内岡 聖仁 議員
森定 歩夢 議員
松原小

市の特産品に関する取り組みについて
高梁の特産品のトマトを使った、カレー味のインディアンマト焼きそばを給食で食べました。とても

平野 愛歩 議員
小林 菜美 議員
巨瀬小



お年寄りのために「助け合いバス」を高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りも、これからもっと増えると思われる。

通院や買い物で、バス停までの距離が遠かったり、長い時間バスを待たたりと、困っているお年寄りのために、どこからでも乗ることができる「助け合いバス」があったらよいと思います。

近藤市長

便利で乗りやすい「助け合いバス」の提案をもらい、お年寄りなどに対する優しい気持ち、とてもうれしく思います。

高梁市は地形が複雑で、住宅も密集していない地区が多く、自分で車を運転できない人や、お年寄りなどの「移動手段」の確保が、年々大きな課題になっていきます。

人口の減少や自家用車の普及により、バスなどの利用者は年々減少し、乗る人が減れば、バス会社も路線を縮小せざるを得なくなり、悪い循環ができてしまいます。

廣金 沙弥夏 議員
川上 隆三 議員
宇治小



自然や環境を守る取り組みについて

宇治町では、「森の宝石」とも呼ばれている渡り鳥のブッポウソウが、住みやすい環境を作るため、巣箱を町内の各地に取り付けたり、クリーン作戦をしています。また、学校では巣の中にテレビカ

るようになったことで、昔とは様子も雰囲気も変わりました。

このままでは、利用する人も減り、活気を失ってしまうので、人通りを多くするために、にぎわいのあるイベントを開催しています。「わくわく子どもフェスタ」もその一つです。

また、空き店舗を市内の高校生や大学生が活用し、授業内容の紹介や市民との交流の場として、チャレンジショップやギャラリーなどを開いています。

成羽町本丁商店街でも、通りに神楽のオブジェを展示し、観光客が見学できるように、空き店舗を備中神楽の資料館にしました。

このように、商店街の皆さんと商工会議所や商工会、市役所など多くの関係者が協力して、商店街の魅力を最大限に活用しながら、昔のにぎわいと人通りを取り戻すため、いろいろな取り組みをしています。

商店街に名前をつけるのは、とてもいい提案です。親しみがわき、買い物に行ってみたい気分になり、イメージアップにもつながります。このアイデアを商店街の方に伝えたいと思います。

